

様式 2

第12回安曇野市行政改革推進委員会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 第12回安曇野市行政改革推進委員会 |
| 2 | 日 時 | 平成28年4月22日(金) 午前10時から午後0時まで |
| 3 | 会 場 | 安曇野市本庁舎3階 会議室301 |
| 4 | 出席者 | 降旗会長、伊藤副会長、市川委員、高橋委員、保尊委員、那須委員、望月委員、丸山庄一委員、降旗幸子委員、中山委員、山崎委員、青木委員、藤原委員 |
| 5 | 市側出席者 | 花村福祉部長、鎌崎行政管理課長、丸山行政担当係長、等々力子ども支援課長、水谷子ども支援課長補佐、黒岩保育担当係長、内川主任 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 2人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成28年4月27日 |

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開 会 (伊藤副会長)
- (2) あいさつ (降旗会長)
- (3) 会議事項
 - ① 全体の流れの説明
 - ② 項目に関する意見交換
- (4) その他
- (5) 閉 会 (伊藤副会長)

2 審議概要

- (1) 全体の流れの説明
(事務局) 保育資料15、保育資料15(附属)の説明
- (2) 項目に関する意見交換

○基本的にはこの流れで良いのではないと思うが、行政改革推進なので、財政的な面の現状や課題という視点をどこかに入れていただきたいと思った。今後保育所が認定こども園化する場合に、国の財政も厳しくなってくると交付税も厳しくなり、市全体の財政も厳しくなる。その状況でこれからの保育所運営をするにあたって、民営化も一つの手立てという流れで財政的な話をぜひ入れて頂きたい。

○それは、2番のところへ(5)で入れた方が良いか。確かに財政のことは入っていない。

→まず認定こども園化した時の費用について、公立で運営している場合には今までとやっていることは基本的には同じなので、費用について増えるということはない。それを民営化した時の費用について、認定こども園化したことを想定した公定価格で計算してあるので、その差異で交付税と交付金の差が6千万円というような形である。

○認定こども園は保育園と幼稚園であり、安曇野市は民間含めて2園しか幼稚園がない。先ほど全然関係ないというようなお話があったが、保育園と複合して幼稚園の部分が増えていくと考えられるので、そこへの財政負担は増えるのではないと思う。

→今現在の保育所に幼稚園機能が加わるということだが、現在幼児教育を受けたいという方の行き場所がないので、安曇野市としてはそのニーズを保育所で特例給付という特例的な扱いで既に入れている。その部分については今後さらにニーズ自体が増えてくるということはないと見込んでおり、幼稚園機能が加わっても経費的に増えることはないと考えている。

○課題の整理が3点になっているが、人材や金の問題は絶対についてくるべきで、実際に諮問された原因は少なくともそこにあると思う。今日の日経新聞で、政府も保育士の月給を1万2千円上げると一面に掲載があるし、そういう場合に国が出した支出が本当に保育士さんへ渡っているのかということも市民の皆さんにも理解してもらわなければならないという中で、金の問題が保育士の確保の問題にも関わってくる。そのあたりの整理も行革委員会としてもやっておくべきかと思う。

→現況の中に、現在の保育行政に対する財政や認定保育園に若干触れる等考えさせていただく。

○先ほどの意見を（４）番として、民営化の背景の中へ入れていただけるか。金の事は全く触れていないので、それを一つの項目に集約して、記述すべきかと思った。

○背景の３番に非常勤職員への対応とあり、資料に非常勤職員が多くなるのはまずいという言葉が多くなっていると思うが、これは保護者からこういう問題で、と指摘されてのことか。非常勤職員が多いために、実際の保育行政に保育の実態のところでは何か課題や問題が指摘されているのかどうか。７割を超える非常勤職員がいるということが非常に問題だと言われているが、なぜ問題なのか。

→保護者の方からは直接そういう声はいただいている。ただ保育士からは、７割が非常勤で負担が大きいという意見はある。以前は家庭訪問の際に非常勤職員の先生が行くと家に入れてもらえなかったということもあったようである。

○その問題を解決するために民営化するという話はリンクしていかないのでは無いかと思う。非常勤で働いている人も二通りあると思う。色々な制限があるから非常勤で勤めたいという人と、本当は正規で市の職員になりたいが、採用してくれないから仕方なく非常勤で仕事をしているという人。ここに書いてあるように現在クラス担任等も非常勤職員に任せなければいけない状態になっていますとあるが、何が課題なのか。民間企業でパートに店長をやってもらっている現状もある。

○例えばコンビニの店長は非常勤であるとか、それを行政の施策を運営する職員の分野まで持ち込んで良いかどうかというところでご意見を頂きたいと思う。単純な事務処理ではなくて、子どもを預かって育てていく。そういったことには大きな責任がある、というご意見が皆様から出ており、責任ある立場の地位、待遇、そういう職員が正規としてきちんとその立場にいないとまずいのではないかと私は理解していた。民間の事例が全て取り入れられることになると、全員非常勤でも不可能ではないということにもなるが、ご意見を伺いたい。

○民間でどこが受けるか。民営化されたらもっと非常勤化をして回すかもしれない。また、今働きたい人の中には、多種多様な働き方を求めている人もいるので、非常勤で結構だという女性も沢山増えている。民営化したら益々主なポジションだけ正規で、後は非常勤で回していくということになるかもしれない。

→保育資料15（附属資料）の右側に矢印があるかと思うが、1・2・3あたりは事務局の考え、3番については所管課と委員会の集約を入れさせていただいている。4番からは委員会の意見の集約というところで、4番に財政的な部分を入れていくということにしたいと思う。非常勤職員の課題については、資料等を説明する中でご意見を頂いているところであり、職員のやる気・モチベーションの維持につながらないのではないかと等しい意見を頂いていたので、背景に入れさせていただいた。4番以降については、本委員会としての意見ということであり、あくまでもたたき台であるので、表記の違い等については、ご指摘いただき修正等を加えさせていただく。先ほどの民間で何処が受けるんだという事は、次の段階かと思う。そういう課題があるので、しっかり検討を行うようにということなのか、民営化は検討すべきではないということになるのか。答申の内容に盛り込んでいければと思っている。

○民間で受けるところがあるかどうかはこの委員会が判断する事ではなく、この部分は民営化を考えた方が良く、しかし、どんな受け手でも良いという事ではなくて民営化主体はこうあるべきであり、こういう事に注意してやって頂くという様な留意事項を加え、後は行政に考えて頂ければ良い事だと思っている。誰が受けるか、受け手がいないという事になるかもしれない、それはこの先行政の皆さんが取り組み、考えて頂くという事で、この委員会とすれば民営化主体はなるべくこういう受け手が望ましい、こういう受け手はやめてもらいたいといった留意事項を付記するくらいで良いのではないかとと思う。

○7ページの（イ）保育士の確保の最末尾に人材センター等の設置の記載がある。人材センターの設置は単に保育士の確保のみではなく、やり方によっては6ページの3番の（2）多様化する保護者ニーズへの対応に相当応える事ができるのではないかと考えている。人材センターの設置には新たな人材の掘り起しのみならず、今の臨時職員の方を全部包括するものにする。最初は行政主導で、指定管理を経てこれを民営化していくと相当大きな組織になると思う。これで早朝・夕方・土曜日、そして特殊な学習等へのニーズに次第に応じていくと、自然に民営化が色濃く増していくのではないかと、そういう可能性を持った人材センターなので、保育士の確保の一部の手法ではなくて、新たな項目として頂いても良いのではないかとと思う。

→（イ）の末尾にある2行を（ウ）として人材センター等の設置という項目とし、なお且つその効果を記載する形か。

○このままでも良いが、可能性としては民営化の多様なニーズへも対応ができていくと思っている。皆さんのご意見も聞きたい。

○人材センターという表現があまりにも具体的すぎると思った。例えば保育士の量的、或いは質的な人材の確保を図るシステムや、もっとグローバルな表現にした方が良いのかと思う。また、行政の皆さんが国に働きかけて市ではなく国や県が作るかもしれないので、市が作ると限定しない方が良いと思った。人材確保についても量的にすぐに対応できる、なお且つ良い保育士さんが確保できるという趣旨にして、あまり具体的な表現にはしない方が良いのではと思う。

→人材確保の手法として人材センター等が考えられるという事で、これを項目には取り上げない。

○人材センターに賛成である。非常勤職員が7割にもなってしまったという事は、運用面で弊害があるだろうという事から、非常勤職員から正規職員に上げられないかという意見を以前出したが、非常勤の方が良いという皆さんもいるだろうとも思い、今回の人材バンクのようなものを作れば、非常勤職員に関する問題の多くに対応するだろうと思った。その面からすると6ページの(3)増加した非常勤職員への対応という中では、非常勤職員を減らして少しでも正規職員を増やすという事は、経営していく中では非常に大事な事だと思う。民営化すれば非常勤職員が減って正規職員を採用できる比率が高くなるのではないかという意見も出ていたと思うが、そういう意味から言っても民営化というのは非常勤職員の現状を見る時に必要だろう。特に非常勤職員についての対応というのは項目としてあげて頂いて、なお且つ人材バンクのようなものを作る中で、ニーズに応えるための制度は必要だろうと思う。

○非常勤職員の対応という事よりも保育園も人の質が非常に重要なので、この質をいかに担保していくかが重要な要素である。また、同一労働、同一賃金についても国の方で盛んに動いているので、完全な正解を言うのではなく、こういう課題があってそれに対して対応していくという形の、部分の併記で良いのではないかと思う。民営化になると一つの面として、正規職員が増えるということがあるが、ほとんどが非正規の採用になる恐れもある。これは選択の自由という事もあり、多様な労働に対応する面もあるが、一番の問題は質の担保と保育士に長期間に渡って魅力のある職場として居ついてもらうという事も重要な要素だと思うので、そのような視点で課題を書いていくというレベルで良いと思う。

○先ほどの人材センターの件で一つ注意しなければならないのは、やり方によっては有料職業紹介事業になってしまうことだと思う。人材センター等の設置により経験者等人材の掘り起しを行うシステムづくりが必要であると書かれているが、ここは少しぼかした表現の方が良いと思う。例えば市のデータベースに登録してもらってその中から市が採用するのなら良いが、それを外に出すとすると明らかに職業紹介になり職業安定法違反になるので気を付ける必要があると思う。

○(4)として財政的な基盤の部分の項目に入れる事について、例えば保育園行政をやっていく時には公平性という観点がある。安曇野市の非正規の職員が増えてしまっている背景は安曇野市の特徴の一つだと思うが、国の行政の枠組みから安曇野市が置かれている現状として見た時に、一部民営化を入れていかないとクリアできない部分が課題として出てきているから、民営化については一部踏み込んでいかないと難しいという考え方だと思う。また昨年の12月から働く側のストレス度テストを導入するようになって来ていて、もし非正規職員を全部正規職員にできるのならストレス度テストをクリアできていけるのかもしれないが、やはり人数を増やさず時間外勤務手当をつけて長時間働くというのでは、当然職員が疲弊してきてしまう。だから、働く側においては多様化した働き手側のニーズと求める職場とのマッチングが、民営化によってできるという事につながっていくと思うので、この三点だけで終わってしまっているのか、それ以外の部分はこの財政の所で括っていけば良いのかという事を感じた。

→どちらにしても財政的な面には触れさせて頂きたいが、非常勤職員が全体の7割を超えている事は市としては課題であると思っている。ただ、本委員会として民営化には結びつかないという事になれば、課題には上げないという事になるのかと思う。

○非常勤職員は定期昇給はないのか。

→ない。

○今日の日経新聞によると、定期昇給を導入する所には補助金を出すとなっている。そういう所も含めて非常勤の人の問題であり、研修の問題であり、人材育成の問題であって、果たして我々がそれに意見を言うて良いのか、例えば民営化について今出てきている中で可能性が高いのは指定管理者が運営を受けるという方法だが、人の雇用や賃金についてその人たちが考えて行ってもらえば良い事である。いずれにしても我々がそこまで踏み込むと受け手がなくなる。また、民営化するならその雇用関係だとか雇用条件は当然出てくるので、問題は市の正規職員の人たちをどうするのか、一度入れ替えるのか、ほかに異動させるのか、再雇用で民間に行くのかその辺の問題でもあるので、雇用の問題は細かく整理をしていかなければならないと思う。

○非常勤職員の内容をここに詳しく書いても仕方ない。保育士の立場にとって如何に魅力的な職場を作り込

むかという事が、保育の質を担保するための重要な要素となると思うので、その視点で、どういう課題があるという様な形でまとめて良いと思う。非常勤職員が多いというのは行政の問題ではあるが、大きな視点でとると質の部分、働きやすい職場とか働く魅力のある職場というのが重要な要素になってくると思うので、そんな構成で検討してはどうか。

○市内公立保育園の園長は、有資格者の正規職員か。

→公立の18園すべて有資格者で、28年度は1名再任用職員が園長になっている。

○保育園の園長は資格がなくても有資格者の補助者がいればできるので、隣市では退職した者が大勢保育園の園長をやっていた。また、非常勤について、数年前は総務部長も非常勤職員で対応していた。保育園・幼稚園現場でもおそらく今も隣の市の公立幼稚園、私立幼稚園の園長は全部が正規職員ではないはずである。非常勤が増えたという事も課題だろうが、保育現場で責任があるから保育士を正職員でということならば、園長を有資格者ではない、例えば事務系の方を再雇用して、有資格者の方に現場の補助をして頂くと保育士確保の一面を担う事もできるのではないかと思う。また、民営化にあたって財政面という事が一番の目的になるので、2番の現状の中にも保育の財政面的なものを概要的に掲載して頂いて、民営化検討の背景の中にも財政面からの項目も入れれば良いのではないかと思う。

○保育園の民営化というのは、営利事業を民営化するのとは全く違って、園児たちをどうやって育てていくかということである。決して効率化をしてはいけないと思う。今日まとめていただいた素々案に、先程言われた財政と人材センターを入れて、色々ご検討していただいて、答申書を作成していただきたいと思う。また、一番大事なのは現場の方々、園児、保護者の声をたくさん取り入れて、市長へ伝えるということではないか。営利事業の民間の活動と違って、何でも効率化して利益を上げればいいものと全く違うと言うことを含み、安曇野らしい良い子が育つような方法の答申をしていただけたらと思っている。先程の財政と人材センターも入れていただきたいと思う。

○財政的な側面で、一般市民の方々に民営化に踏み込んでいかなければならないということを理解してもらう必要がある。単純に保育行政だけを他市と比べても一概に比べられない。財政状態は19市を見た時に誇れるものではないという事はしっかり認識しておかなければいけない。特にこれから大きい建物が29年まで続き、膨らんだ財政がしばらく続くので、民営化の議論に踏み込んできている意義を理解してもらうような内容にしていかなければいけない。だから財政的な視点は大事であると思う。

○保護者の経済的な負担は民営化しても変わらないということだが、一般市民から見た時に、民営化したら保護者の負担が増えるとなると難しくなってくるので、文章で1行入れた方が安心に思っただけではないかと思う。

○インターネットで調べると、民営化のデメリットに制服、備品・教材費の購入など、保護者の経済的負担が増加する可能性があるとなっているサイトもある。負担が変わらないとは明示できないと思う。また、8ページの5番で、「民間活力を随時導入していくという観点も必要になる。」をここに書いてよいのか。全部民間活力を導入していくということで動いているのか、一部の部分をやっていくのか統一が文章の中で取れていないところが多々あるような気がする。見直しをしてもらいたいと思う。

○8ページ目の(4) 保育園の民営化は決して悪い事ではないは言葉が適当でないと思うので改めた方がよいと思う。

○行政のサービスを確保しながら徐々に民間に移行していくのか、というところが大切であると思う。行政全体の正規職員も今700人いるが、本当にその規模の人員が必要なのか、いずれにしても徐々に議論していかなければいけない。この保育園の民営化を進めていく観点には、財政的な部分もしっかり落とし込みながら、「だからやっていかなければいけない」というようにしていかないと市民の皆さんの理解は得られないと思う。

○安曇野市全体の財政的な運営、すなわち最終的には市民負担になるので、それを優先して考えれば、保育行政ばかりに多額のお金をかけられない。しかし、逆に少子化がゆえに今いる子どもたちを大事にし、安曇野市の宝だという話もあった。そこに投資して時代を背負っていってもらおう。それには、維持費がかかっても良いのではないかな等、どこにウエイトをおくのか様々な意見がある。それを一つにまとめるというのが我々の義務なので、何とかしてやっていかなければいけない。

次回の日程・・・5月中～下旬を予定

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に作成しホームページへ掲載すると共に閲覧に供してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。